



朝一小だより

活気があふれ、心が潤い、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和7年7月18日

児童数 615名



子供にしか見えないもの

校長 金子 二郎

ここ数年は「夏と冬ばかりになり、春と秋がどこかへ行ってしまった」と嘆く向きも少なくありませんが、7月半ばを過ぎて共に思い出したように梅雨空が戻ってきました。おかげ様を持ちまして本日、1学期の終業式を迎えることができました。一時期はプールでの水泳指導さえも断念せざるを得ない猛暑が続きましたが、それでも子供たちは元気に登校し、学習やたて割り活動をはじめとする学校行事に取り組みました。その一方、全国的には連日のように熱中症による救急搬送が報道されております。保護者や



地域の皆様におかれましては、体調を崩すことのないようくれぐれもお気を付けください。この71日間、保護者や地域の皆様のお力添えにより子供たちの輝く笑顔を数えきれないくらい見ることができました。まずもって心から感謝申し上げます。

さて、明日から41日間の夏休みが始まります。子供たちの笑顔を見れば、誰もが夏休みを楽しみにしているのは言うまでもありません。校内で「今年の夏休みはどんなことをしますか」と声をかけると、「一年ぶりに田舎に泊まりに行きます」とか「花火大会を見に行きます」「彩夏祭で踊ります」などと、もう待ちきれないと言わんがばかりに早口で教えてください。以前の話になりますが。夏休み明けの2学期のはじめ、低学年の学級で「夏休みの思い出を絵に描きましょう」という授業があった時のことです。その男の子は画用紙一杯に大きなかき氷の絵を一生懸命描いていました。一目でイチゴ味とわかるかき氷に、クレヨンで自分なりに工夫をして練乳をかけていました。



「かき氷、おいしかっただね」と尋ねると、「うん。おばあちゃんが作ってくれた。イチゴミルク、初めて食べたけど、冷たくてすごくおいしかった。また食べたい。」と満面の笑みで答えてくれました。その男の子は大人になってもかき氷を食べる度に、優しいおばあちゃんと素敵な夏休みを鮮やかに思い出すに違いありません。大人にとっては難しいかもしれませんが、子供は日常の中で宝物を見出す特別な力を持っているようです。大人がすぐに忘れてしまうような些細なことでも、かけがえのない、忘れることのできない思い出になります。どうやら大人には見えなくとも、何気ない日常の中に忘れることのできない思い出の原石があるようです。予約することが難しいハイクラスのリゾートホテルで高級フレンチに舌鼓を打つのも、家族そろっての素敵な思い出となるでしょう。他方、大人が用意しなくても子供自身で夏の一場面を宝物のような思い出に残すこともできます。大人とは違った時間の流れの中で、一人一人にとって忘れることのできない素敵な夏休みを自分の力で送ることができたらと願っています。



幼年時代の思い出から得た神聖な貴重なものなしには、人間は生きてゆくこともできない (ワールド・ストローク)